

# 「地域経済懇談会inうるま市」 を開催しました。



【経済産業部】

NO.7

～地域の課題解決・活性化に向けて～



▲会場全体の様子

平成30年7月6日、うるま市役所において、市長を筆頭に市職員や商工会、地元金融機関など総勢48名による「地域経済懇談会inうるま市」を開催しました。

「地域経済懇談会」は、地域の現状や振興策に対する御意見、御要望を自治体、地域経済団体、金融機関などから直接お聞きし、今後の当局行政に生かしていくことを目的に県内各地で実施しています。経済産業部が主催していますが、農林水産部や運輸部なども参加する各部と連携した取組です。

## 「地域経済懇談会inうるま市」について

始めに、寺家経済産業部長から「現地の生の声を聞きたい」との挨拶のあと、国の支援策を説明し、続いて、う

るま市の取組が報告されました。

うるま市は沖縄県の中部に位置し、人口約12万人と県内3位。国際物流拠点産業集積地域(旧・特別自由貿易地域)を有し、製造業やIT企業などの立地が進んでいます。しかし一方で、高い失業率(県内35位)や低い市民所得(県内38位)、観光ニーズの多様化、物流インフラの必要性、人材不足、農業従事者の担い手不足などの課題もあるため、関係機関と連携した観光振興施策の展開を始め、中城湾港新港地区の工業団地への企業誘致活動、物流拠点化に関する事業、地域の雇用人材の育成支援など、改善に向けた様々な取組について報告がありました。今年11月には「うるま市農水産業振興戦略拠点施設(通称「うるまマルシェ」)の完成を予定しており、農水産物の販売などによる生産者の所得向上も目

指しています。

後半の意見交換では、沖縄県、金融機関、うるま市商工会、うるま市観光物産協会から質問やそれぞれの現状説明がある中、国際物流拠点産業集積地域の分譲可能用地割合が11・9%と限られてきている状況や、「うるまマルシェ」の取組に高い関心が寄せられました。また、全国的な課題である人手不足についても発言があり、国・県・市・関係機関が連携する必要性など、意見交換が活発に行われ、最後に島袋うるま市長の総括と御挨拶で懇談会を閉会しました。

経済産業部では、今後も地域の課題解決に対して、引き続き取り組んで参ります。

経済産業部企画振興課  
担当(玉城・盛根)

☎098-866-11727



▲意見交換の様子1



▲意見交換の様子2



▲うるま市島袋俊夫市長挨拶